

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2019年度 大学院入学試験問題  
経済学研究科  
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>  
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ 経済史

## 1 労働市場

- (1) 構造的失業と摩擦的失業についてそれぞれ説明せよ。
- (2) 以下の三つの用語から一つを選び、構造的失業との関連性を説明せよ。

最低賃金法、労働組合、効率賃金仮説

- (3) ここ数年、日本の労働市場では「人手不足」が言われている。もし現状が構造的失業の逆の現象としての「構造的人手不足」だとすると、「労働に対する超過需要があるのに、なぜ賃金が上がらないのか」という疑問が生じる。この疑問に対する自分なりの考えを述べよ。

## 2 開放経済

国民所得勘定では、財・サービスに対する需要（支出）は消費  $C$ 、投資  $I$ 、政府購入  $G$ 、輸出  $X$  の4つの項目に分類される。消費  $C$  の内、国内の消費財に対する支出を  $C^d$ 、外国の消費財に対する支出を  $C^f$  とすると、 $C = C^d + C^f$  が成立する。 $I^d$ 、 $I^f$ 、 $G^d$ 、 $G^f$  を同様に定義し、GDP を  $Y$  と表記する。

- (1) 中間財の輸出入が存在しないと仮定し、以下の問いに答えよ。
  - (a) 国民所得勘定の恒等式を導出せよ。ただし、 $Y = \dots$  の形で表現し、 $C^d$  を式に含めること。
  - (b) 定義された変数を用いて輸入  $IM$  を表現せよ。
  - (c) 国民所得勘定の恒等式を  $IM$  を含む形で示せ。
- (2) 中間財の輸出入が存在し、輸出  $X$  には中間財が含まれているものとする。中間財に対する支出  $Z$  の内、国内の中間財に対する支出を  $Z^d$ 、外国の中間財に対する支出を  $Z^f$  とすると、 $Z = Z^d + Z^f$  が成立する。以下の問いに答えよ。
  - (a) 国民所得勘定の恒等式を導出せよ。ただし、 $Y = \dots$  の形で表現し、 $Z^d$  を式に含めること。
  - (b) 定義された変数を用いて輸入  $IM$  を表現せよ。
  - (c) 国民所得勘定の恒等式を  $IM$  を含む形で示せ。
- (3) 日本の国民所得勘定を考える上では (1) と (2) のどちらが適切か。理由を添えて説明せよ。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2019年度 大学院入学試験問題  
経済学研究科  
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>  
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ 経済史

問 1. 二つの企業A,Bからなる複占市場について考える。生産量を $x_i \geq 0$  ( $i = A, B$ )で表す。この市場の需要曲線を $p = 100 - (x_A + x_B)$ とする。

企業Aの費用関数が $40x_A$ 、企業Bの費用関数は $10x_B$ としよう。このとき、クールノー・ナッシュ均衡における両企業の実産量、利潤、社会的余剰を求めなさい。

問 2. 2つの財の消費量をそれぞれ $x_1, x_2 \geq 0$ とし、これらの価格を $p_1, p_2$ と表す。また、消費者が持つ所得を $M$ とする。効用関数を $u(x_1, x_2) = \{x_1^\rho + x_2^\rho\}^{\frac{1}{\rho}}$ とする。

- (1) それぞれの財の需要関数と間接効用関数を求めなさい。
- (2) (1)で求めた需要関数に対して、代替の弾力性の絶対値を求めなさい。計算過程を書くこと。
- (3) 効用水準 $U$ を達成するための、それぞれの財の補償需要関数と支出関数を求めなさい。